

経001	項目名	地元企業早期ブランディング事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	雇用対策事業費	ページ	37
年度	R3	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	4,860		
総務部長段階査定額	4,860	その他財源の内訳	
市長段階査定額	4,860	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	2,430	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,430	
	計	4,860	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284

【11次総の施策体系】2101

【事業の経過及び背景】
平成23年度以降高校生を対象とした学校単位での大規模な企業見学会を実施してきたが、コロナ禍にあって新様式への転換が必要となった。令和2年度には、地元企業43社を高校生(県立鳥取西高校・県立鳥取商業高校の1年生計431名)の体験型探究学習の場として提供してもらい、オンラインでの学習プログラムと運動した小規模グループでの職場体験プログラムを試行的に実施した。
地元就職の促進に向けては、県内高校卒業者全体の7割以上を占める進学者層に対して、進路選択前の段階で地元企業の認知度向上に資する効果的な取り組みを継続していくことが求められている。

【事業の目的及び効果】
高校生が地元企業の仕事やその魅力、学びと仕事のつながりや広がりを知ること、ネームバリューや企業規模に左右されない地元就職や将来的な地域への人材還流(大学等卒業後のUターン就職)につなげる。

【事業の内容】
労働需給の均衡に向けた諸課題解決のために産学官連携で組織した鳥取市雇用促進協議会の事業として新様式の若者定着支援事業を拡大する。地域の魅力や課題などに関するデジタルコンテンツを製作し、オンラインでの充実した事前・事後学習を行うとともに、地元企業を高校生の体験型探究学習の場として提供してもらい、学習プログラムと運動した小規模なグループでの職場体験を実施することで、地元企業の認知度向上と将来の地元就職の促進につなげる。

経002	項目名	鳥取市中小企業DX推進事業補助金(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	雇用対策事業費	ページ	37
年度	R3	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	15,550		
総務部長段階査定額	15,550	その他財源の内訳	
市長段階査定額	15,550	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	7,775	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	7,775	
	計	15,550	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284

【11次総の施策体系】2101

【事業の経過及び背景】
ウィズコロナの下で一日も早く社会経済活動の再開を図るうえで、デジタルトランスフォーメーション(以下、「DX」)が必要となっている。市内中小企業等がDXの推進を担う人材を育成・確保し、デジタル技術を用いてニューノーマルな社会に対応した事業再構築や生産性向上を実現することを支援することが求められている。

【事業の目的及び効果】
AI、IoT、ビッグデータ等のデジタル技術やデータを取り扱うための専門スキルの向上による自社内の事業再構築や生産性向上などをめざして実施する人材育成研修や専門家指導の経費、人材確保・定着につながるデジタルツール等の導入経費の一部を助成することで、広く市内中小企業等のDXを促進することを目的とする。

【事業の内容】
対象事業：①DXに取り組むための社内人材の育成・教育に資する事業
②DXに取り組むための専門人材の確保に資する事業
③人材確保や定着率向上につながるデジタルツールを活用する事業
対象経費：人材育成・教育費、コンサルティング費用、システム導入費等
補助率：3分の2
補助限度額：50万円

経003	項目名	鳥取市労働移動・キャリアアップ支援奨励金(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	雇用対策事業費	ページ	37
年度	R3	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	11,918		
総務部長段階査定額	11,918	その他財源の内訳	
市長段階査定額	11,918	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	5,959	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	5,959	
	計	11,918	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284

【11次総の施策体系】2101

【事業の経過及び背景】
慢性的な人材不足分野（医療・福祉、建設、警備、運輸）や成長産業への円滑な人材移転を促す「失業なき労働移動」を成長戦略の一環として進める必要がある。また、今後生産年齢人口が減少し続ける中で、育児・介護等で仕事を離れた方々や就職氷河期世代の方など多様な人材の活躍支援が求められている。

【事業の目的及び効果】
コロナ禍によって失業ないし労働時間の縮減といった厳しい影響を受けやすい非正規労働者や育児・介護等で仕事を離れた方々、就職氷河期世代の方の職業訓練や能力開発を強力に推進することで多様な人材の活躍と人材不足分野や成長産業への労働移動を促進することを目的とする。

【事業の内容】
希望に応じたキャリア開発や職業選択を伴走支援するため、支援員1名を配置。
補助対象：①非正規労働者として就労中の方又は無職で求職中の方（学生は除く）
②職業訓練等を修了し、修了証・単位認定証等を授与された方
③市が提供する伴走支援を受けて、人材不足分野又はデジタル人材として再就職に取り組む方
対象経費：再就職につながる職業訓練・教育課程等の受講料
※ただし、雇用保険等の制度による助成部分は除く。
補助率：3分の2
補助限度額：月額1万5千円・年額18万円

経004	項目名	インターネットショップ事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	物産振興事業費	ページ	37
年度	R3	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	30,622		
総務部長段階査定額	30,622	その他財源の内訳	
市長段階査定額	30,622	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	15,311	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	15,311	
	計	30,622	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283

【11次総の施策体系】2103、2104

【事業の経過及び背景】
新型コロナウイルス感染症の影響により、「とっとり市」に参加している事業者においても、特に実際に対人販売を行っている店舗においては売上が減少している。このため、対人販売ではないインターネットによる販売に、販路拡大の支援を求める声が大い。

【事業の目的及び効果】
インターネットによる販路の拡大・開拓を促進することにより、物産振興および産業振興を進める。

【事業の内容】
委託先：鳥取市観光コンベンション協会
※「とっとり市」カスタマーセンターを運営
(1) 30%の商品価格オフのクーポン券を発行 22,910千円
(2) 送料無料などキャンペーンの実施 2,317千円
(3) 上記に要する諸経費・消費税等 4,193千円
委託先：株式会社エッグ ※「とっとり市」システムベンダー
(1) システム改修費 1,092千円
(2) 上記に要する諸経費・消費税等 110千円

(実績)

	(売上前数)	(売上実績)
令和元年度	5,717件	23,210千円
令和2年度	16,194件	63,616千円
	※うち臨時交付金キャンペーン	27,553千円
令和3年度	22,976件	100,004千円
	※うち臨時交付金キャンペーン	69,516千円

経005	項目名	物産振興体制強化事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	物産振興事業費	ページ	37
年度	R3	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	2,000		
総務部長段階査定額	2,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	1,000	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,000	
	計	2,000	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283 【11次総の施策体系】2103 【事業の経過及び背景】 鳥取市観光コンベンション協会の物産部門が運営するまちパル内にある「鳥取市ふるさと物産館」は、各種キャンペーンを行いながら、集客・売上の向上に努めているが、新型コロナウイルス感染症の影響により来客者数の落ち込みが継続している。 【事業の目的及び効果】 新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ地元物産品の販売促進、販路拡大のためのキャンペーンを、鳥取市観光コンベンション協会の物産部門に委託する。 【事業の内容】 抽選で、各期100名に50万円相当の特産品をプレゼントするキャンペーンを 第1期 5月～7月 第2期 8月～10月 の2回に分けて実施する。 応募方法は、鳥取市ふるさと物産館の幅広い周知を狙い、同館のSNSアカウントをフォローのうえ、鳥取市の好きな土産・特産品の写真やコメントをハッシュタグを付けて投稿することを要件とする。 <委託料内訳> テラシ・ポスター制作費等の需用費・委託料 369千円 商品代金・発送料などの役務費 1,300千円 上記に要する諸経費・消費税等 331千円			

経006	項目名	公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出	ページ	41
年度	R3	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	他会計繰出		
目	公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	2,000		
総務部長段階査定額	2,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	1,000	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,000	
	計	2,000	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283 【11次総の施策体系】2103 【事業の経過及び背景】 ポストコロナ下での我が国経済の再生と社会情勢や需要の変化を見据え、卸売市場や食品卸団体等が取り組む生鮮食料品等の安定供給機能を確保するサプライチェーンの改善・強化等を支援する国の施策が行われる。 これに呼応する、鳥取市公設地方卸売市場の指定管理者である市場組合（協同組合鳥取総合食品卸売市場）が行う取組に対し支援を行う。 【事業の目的及び効果】 市場組合が、「アフターコロナ需要獲得事業」として、卸売市場、食品卸団体等が食品のインターネット販売や巣ごもり需要の増加等消費者ニーズの変化に対応した需要を獲得するための市場流通の活性化の取組を支援する国補助事業に申請するため、採択された場合、市が不足分を補助するもの。 取扱高の減少が続いている鳥取市場の参画事業者の販路拡大策を支援する。 【事業の内容】 市場組合が、国流通合理化計画を策定・認定をうけたうえで、補助金申請を行う。採択された場合、市補助により自己負担分を支援する。 申請内容：鳥取市公式インターネットショップ「とっとり市」に組合員が出店幅広く鳥取市場を周知すると同時に、販売促進するための広告宣伝ホームページを再構築（再整備後の運用オペレーションとの連動可能なフォームを作成）			

経007	項目名	生産性向上設備導入支援事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	37
年度	R3	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	126,000		
総務部長段階査定額	126,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	126,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	63,000	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	63,000	
	計	126,000	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223 【11次総の施策体系】2101 【事業の経過及び背景】 民間調査会社の調べ(令和3年10月)によると、新型コロナウイルス感染症の影響により、山陰地区において64%の企業が業績にマイナスの影響があり、また、鳥取県において40%の企業が人材不足との結果が出ており、生産性向上の必要性が高まっている。 【事業の目的及び効果】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、業績が悪化している市内中小企業に対し、生産性向上のため先端設備等を導入する費用の一部を支援することにより、本市地域経済の早期回復及び発展を図る。 【事業の内容】 ○生産性向上設備導入支援事業補助金(補助率1/5、上限2,000千円) 対象者：先端設備等導入計画に係る本市の認定または変更認定を受けている以下の全てを満たす事業者 ①市内に事業所があり2年以上事業等を行っている法人・個人 ②申請日時点で事業収入が前年比10%以上減少 ③中小企業等経営強化法に規定する中小企業者 対象経費：中小企業等経営強化法第52条第1項に規定する、本市が認定した、先端設備等導入計画のうち、工業会証明書の添付がある機械、装置等の導入経費 補助金額：@2,000千円(上限)×63件=126,000千円			

経008	項目名	中小企業事業再構築支援事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	37
年度	R3	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	60,640		
総務部長段階査定額	60,640	その他財源の内訳	
市長段階査定額	60,640	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	30,320	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	30,320	
	計	60,640	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223 【11次総の施策体系】2101 【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な売り上げ減により市内企業の多くが厳しい経営状況にあるが、コロナ融資(無担保・無利子)をはじめ、雇用調整助成金や持続化給付金、県・市の様々な緊急支援策により、何とか持ちこたえている。しかしながら、現状のままではアフターコロナのニューノーマル(新しい生活様式)に対応できない事業形態の企業・事業者を中心に廃業・倒産が増加してくることが懸念される。 【事業の目的及び効果】 アフターコロナのニューノーマルに対応できるよう、地元中小企業が事業を再構築するための計画策定やそれを実行するための経費を支援することで、経営課題を解決し、事業継続を図ることができる。 【事業の内容】 ①事業再構築計画確認事務委託業務 商工団体に対し、事業者が策定する「事業再構築計画」の確認事務を委託する。 8千円×80件=640千円 ②鳥取市中小企業事業再構築支援事業補助金 対象者：新型コロナウイルスの影響により売り上げが減少した事業者 対象経費：事業の再構築のために専門家に相談する経費、事業再構築計画を実行するための経費 補助金額：事業費2,000千円以下は補助率1/4 2,000千円を超える経費は補助率1/2、補助上限額：1,000千円 平均補助額750千円×80件=60,000千円			

経009	項目名	労働力確保対策企業支援事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	37
年度	R3	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	14,474		
総務部長段階査定額	14,474	その他財源の内訳	
市長段階査定額	14,474	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区 分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	7,237	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	7,237	
	計	14,474	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225 【11次総の施策体系】2101 【事業の経過及び背景】 企業誘致活動の成果もあり求人が増える中、労働力が確保できず、人手不足が懸念されており、地元産業の振興のための人材確保が喫緊の課題となっている。 国では、外国人の高度人材の受け入れを拡大していく取組みが進んでおり、本市でも日本語学校が設立され、人材確保を進めてきた。 しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人材の受け入れが停止され、人材確保が進まず、更には日本語学校の経営存続が危ぶまれている。 【事業の目的及び効果】 日本語学校の経営を緊急的に支援することにより、アフターコロナに向けた人材確保体制を維持し、地元企業の発展、人口増加及び経済活動の活性化を図る。 【事業の内容】 日本語学校教員の確保と経営の安定を図るため、日本語学校教員の人件費を補助する。 ・日本語学校緊急支援事業費 補助対象 日本語学校教員の人件費 補助金額 人件費の1/3 (実績) 令和3年度 15,976千円(実績見込)			

経010	項目名	観光地等魅力度アップ事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	観光活動費	ページ	39
年度	R3	所 属 名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	8,768		
総務部長段階査定額	8,768	その他財源の内訳	
市長段階査定額	8,768	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区 分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	4,384	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	4,384	
	計	8,768	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292 【11次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 山陰道鳥取西道路の沿線の吉岡温泉では、日帰り温泉施設「吉岡温泉会館一ノ湯」が平成30年4月に閉館し、湖山池では令和2年9月に湖山池遊覧船が運航を再開。一方、白兔周辺エリアでは令和2年度に「白兔周辺地域魅力創造会議」を設置し、新たな誘客策等について検討を行い、本年度には散策道の整備や周遊マップの発行など各種取組を進めている。 【事業の目的及び効果】 観光需要の回復に向け、白兔海岸周辺や湖山池、吉岡温泉エリアへの誘客促進や滞在時間の延長を意識した取組を進め、エリア一帯としての魅力度の向上を図る。 併せて、訴求力のある観光資源の写真や動画素材を作成し、広報・誘客プロモーションに活用する。 【事業の内容】 ① 兎年イヤー記念事業（白兔周辺エリア）：5,000千円 令和5年の兎年に合わせ、「白兔周辺地域魅力創造会議」が取り組むイベントやキャンペーン等の実施に対する支援 ② 湖山池遊覧船利用促進事業（湖山池周辺）：874千円 遊覧船の割引運航やキッチンカーなどを誘致した賑わいイベントの開催 ③ ONSENガストロノミーウォーキング事業（吉岡温泉周辺）：2,047千円 鳥取砂丘コナン空港から吉岡温泉までの風光明媚な景観を楽しみながら、鳥取ならではの「食」と吉岡の「温泉」を楽しむウォーキングイベントの開催に対する支援 ④ 観光宣伝素材作成事業（市内全域）：847千円 各種ウェブサイトやパンフレット等に活用可能な写真や動画素材の作成			

経011	項目名	きなんせとっとり旅で応援キャンペーン事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)
------	-----	---

予算書項目	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
-------	----------------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)

補正前額	0
------	---

要求額	15,972
-----	--------

総務部長段階査定額	15,972	その他財源の内訳	
市長段階査定額	15,972	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分		補正額	
財源内訳	国・県支出金	7,986	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	7,986	
	計	15,972	

行財政改革課処理欄

事業の概要	
【問合せ先】 観光振興係 0857-30-8292	
【11次総の施策体系】 2202	
【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する観光産業の復興・再生に向け、新たな観光需要を創出し、地域経済の活性化を図る必要がある。	
【事業の目的及び効果】 (一社)麒麟のまち観光局(DMO)や旅行会社等と連携し、首都圏、関西圏、中四国エリアなどをターゲットに、鳥取砂丘をはじめ主要観光地を周遊する日帰りバスツアーや、個人向け宿泊商品の造成・販売、誘客プロモーションを展開し、観光産業の復興・再生を図る。	
【事業の内容】 ①割引旅行商品の造成・販売(10,500千円) ・日帰り団体旅行商品 : 1,000人×5千円=5,000千円 ・個人向け宿泊旅行商品 : 1,100人×5千円=5,500千円 ・主な周遊先 : 鳥取砂丘、白兔海岸、賀露港ほか ②誘客プロモーション(5,472千円) 新聞やテレビ等の各種メディア、旅行会社会員誌等を活用した誘客プロモーションの実施	

経012	項目名	砂の美術館管理運営費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)
------	-----	------------------------------

予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
-------	----------------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)

補正前額	0
------	---

要求額	88,946
-----	--------

総務部長段階査定額	88,946	その他財源の内訳	
市長段階査定額	88,946	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分		補正額	
財源内訳	国・県支出金	44,473	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	44,473	
	計	88,946	

行財政改革課処理欄

事業の概要	
【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291	
【11次総の施策体系】 2202	
【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染症の影響により、砂の美術館は料金収入等が減少しているが、地域経済への影響等を考慮し、施設の円滑な維持管理を継続することが求められている。	
【事業の目的及び効果】 料金収入等の減少により必要となる砂の美術館の次期展示の砂像制作に係る関連経費やPRイベント経費を支援することで、次期展示の開催及び施設の円滑な運営により地域経済の活性化に寄与する。	
【事業の内容】 砂の美術館の次期展示に係る砂像制作及びPRイベントの実施等に係る必要経費を指定管理料により支援する。 次期展示に係る砂像制作及びPRイベント経費 88,946千円 (内訳) ・型枠工事関連 : 16,591千円 ・場内歩道等整備 : 18,729千円 ・砂像制作関連 : 39,793千円 ・照明、テント、暗幕等設置 : 4,217千円 ・PRイベント実施経費 : 2,530千円 ・その他(映像・看板等の制作、機材レンタル等) : 7,086千円	

経013	項目名	広域観光開拓・推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	広域観光開拓・推進事業費	ページ	39
年度	R3	所 属 名	
		経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	6,720		
総務部長段階査定額	6,720	その他財源の内訳	
市長段階査定額	6,720	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	3,360	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,360	
	計	6,720	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292 【11次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルスの感染拡大により、圏域の観光事業者が影響を受ける中、観光需要の回復に向け、(一社)麒麟のまち観光局(DMO)を中心に関係6町と連携し、観光商品の販売促進に取り組む必要がある。 【事業の目的及び効果】 令和2年度にDMOが作成した圏域の観光体験コンテンツ等を、ウェブを活用して販売強化することで、観光消費の拡大による圏域の活性化を図る。 【事業の内容】 DMOがウェブを活用して取り組むキャンペーン事業(圏域の観光体験コンテンツの割引販売や広告宣伝等)に対し、1市6町が負担金を拠出する。 ①キャンペーン広告宣伝(ウェブ広告、メルマガ配信等) 4,000千円 ②観光体験コンテンツ割引 @4,400円(上限額)×1,000人= 4,400千円 計 8,400千円 鳥取市負担金：8,400千円×80%=6,720千円			

経014	項目名	まちなか観光推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	
予算書項目	まちなか観光推進事業費	ページ	39
年度	R3	所 属 名	
		経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	36,773		
総務部長段階査定額	32,498	その他財源の内訳	
市長段階査定額	32,498	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	16,249	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	16,249	
	計	32,498	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292 【11次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 史跡鳥取城跡の復元整備が進み、平成30年の「擬宝珠橋」に続き、令和3年には「中ノ御門表門」が完成。現在は、令和9年度頃の完成を目前に「太鼓御門渡櫓」までの大手登城路整備が進められており、復元整備の進展とともに「まちなか観光」の充実への機運が高まっている。 【事業の目的及び効果】 復元整備が進む史跡鳥取城跡周辺の観光振興を図るため、観光コンベンション協会やDMO等と連携し、週末における賑わいイベントの開催、ガイドの配置等の定期化、観光商品の造成に取り組むとともに、Wi-Fi環境を整備するなど、受入環境の充実を図る。また、魅力的なライトアップの実証事業を行い、アフターコロナを見据えた滞在型観光の推進を図る。 【事業の内容】 ①イベント、ガイドの定期化・観光商品の造成等への支援：3,279千円 ・週末賑わいイベントの開催、ガイドの配置 ・観光商品の造成(モニターツアー、トレッキングプラン等の開発) ②城跡フリーWi-Fi環境整備：6,657千円 通信機材費、設置工事費、通信費 ③鳥取城跡ライトアップ実証事業：22,562千円 ・城跡の山頂、石垣、仁風閣などへのライトアップに係る照明機材費、設置工事費、デザイン監修費等 ・実施予定期間：2週間程度			

経015	項目名	観光施設運営事業費特別会計へ繰出(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)
------	-----	------------------------------------

予算書項目	観光施設運営事業費特別会計へ繰出	ページ	39
-------	------------------	-----	----

所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
-----	----------------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	他会計繰出
目	観光施設運営事業費特別会計へ繰出

(単位：千円)

補正前額	0
------	---

要求額	9,416
-----	-------

総務部長段階査定額	9,416
-----------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	9,416
---------	-------

区分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	4,708
地方債	0
その他	0
一般財源	4,708
計	9,416

事業の概要
<p>【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291</p> <p>【1次総の施策体系】 2202</p> <p>【事業の経過及び背景】 国民宿舎山紫苑は、本館を昭和47年に、新館を平成6年に建設し、鹿野地域の代表的な温泉宿泊施設として運営を行っているが、年数の経過とともに施設が老朽化し、改修や修繕等の必要な箇所が増加している。</p> <p>【事業の目的及び効果】 観光庁が、「地域と一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化」を事業化し、観光地の面的再生に資する宿泊施設の大規模改修に対する支援を打ち出したことを受け、この事業の活用に必要な地域計画の策定を行うため、観光施設運営事業費特別会計へ繰出するもの。</p> <p>【事業の内容】 鹿野地域の観光地再生に向けた地域計画の策定 9,416千円</p>

行財政改革課処理欄
